



議長 菅谷 安男



副議長 萩野 勝

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は、北島康介選手が世界水泳において、平泳ぎ二種目で世界新記録を樹立し、金メダルを獲得するという快挙を成し遂げ、大いに湧き上がった年でした。今年のアテネオリンピックでは、北島選手のさらなる活躍を区民の皆さんも待ち望んでいることと思います。

さて、日本経済は、企業収益の改善など、持ち直しの動きも見られますが、完全失業率はいまだ高水準で推移しており、区財政も厳しい状況にあります。このような状況を打開するため、区議会の役割もますます大きくなってきています。

区議会では、第4回定例会より、インターネットによる本会議の録画中継を始めました。今後、より開かれた効率的な議会運営に努めてまいります。また、危機管理対策をはじめ、区内産業の活性化等、区政の諸課題に精力的に取り組んで参る所存です。

本年も区民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ



議案の審議結果 平成15年第4回定例会

○賛成 ×反対 ー退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)					結果	議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)					結果				
	自民党	公明党	尚志会	共産党	新産クラブ			元新産クラブ	自民党	公明党	尚志会	共産党		新産クラブ			
議員提出議案(2件)							第49号	荒川区立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決		
第17号	新たな雇用を創出するための起業・創業支援の早急な整備を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	可決	第50号	荒川区立高齢者就業センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決
第18号	荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第51号	荒川区知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決
区長提出議案(24件)							第52号	荒川区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決		
第38号	荒川区組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第52号	荒川区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例修正案	×	×	×	○	○	○	否決
第39号	選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第53号	荒川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×	可決
第40号	荒川区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第54号	平成15年度荒川区一般会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	荒川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第54号	平成15年度荒川区一般会計補正予算(第2回)修正案	×	×	×	○	×	×	否決
第42号	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第55号	児童福祉施設の指定管理者について	○	○	○	○	○	○	可決
第43号	荒川区職員住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第56号	特別区道荒122号線の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
第44号	荒川さつき会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決	第57号	特別区道荒300号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
第45号	荒川区区民会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第58号	特別区道荒301号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
第46号	荒川区区民ひろば館条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決	第59号	白旗西地区第二種市街地再開発事業の進捗に伴う特別区道線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
第47号	荒川区児童福祉施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第60号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	荒川区立老人福祉施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可決	第61号	幼稚園教職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決

11月27日 本会議
 11月28日 本会議
 12月1日 本会議
 12月2日 総務区民委員会
 保健福祉委員会
 建設環境委員会
 文教委員会
 12月5日 本会議

第4回定例会日程

4面

新春を迎えて
(各会派新年の抱負)

3面・2面

区政の「う」をきく
一般質問要旨
初日
竹内捷美(自民党)
中村高郎(公明党)
小坂英二(尚志会)
小島和男(共産党)
2日目
斉藤裕子(元新産クラブ)
長崎慶一(自民党)
意見書提出

掲載記事のご案内

区政の「目玉」をきく

一般質問要旨

危機管理と

障害者支援費制度について



竹内 捷美 (自民党)

危機管理について

問 東京都内の犯罪発生は、平成11年以降、4年連続で増加しており、区内でも、「ひったくり」や「空き巣」など、身近な犯罪が増えている。今後、さらに地域防犯に力を入れていく必要があると考えるかどうか。

答 治安の維持は、すべての施策に優先する最大の福祉サービスである。今回、第4回定例会に危機管理対策室の設置と地域防犯対策の補正予算を提案した。今後は、警察、消防、地域団体等と協力し、効果的な防犯対策を実施する。

問 危機管理対策で最も重要な点は、区民や関係機関との連携を密にすることであると考えるかどうか。

答 区では、12月に警察、消防、学校、地域団体等からなる「荒川区安全・安心まちづくり協議会」を

実施状況とそれに対する区としての評価を問う。

問 ホームヘルプやケアイドヘルプサービスは2200人に支給決定を行い、144人が利用している。ひと月の利用実績は昨年度の1.4倍に増加している。障害者の方に支援費制度の利用の仕組みが十分に理解され、生活状況等に

応じて居宅サービスを利用されているものと認識している。

問 ホームヘルプサービスへの国庫補助金の全額交付を国に対し、強く要望すべきである。区の見解を問う。

答 大都市東京に暮らす多くの障害者に十分なサービスを提供し続けるためには、国庫補助金等の財源確保が不可欠である。このため、特別区長会から厚生労働大臣あてに、要望書を出した。今後も、特別区間、都区間の連携を図り、支援費制度の財源確保に努める。

問 その他の質問項目

○ 快速で安全なまちづくりについて

○ 道徳教育、特色ある学校教育について

○ 日暮里、三河島周辺の街づくりについて

○ 観光ビジョンの具体化について

区民、民間との協働と教育行政について



中村 尚郎 (公明党)

区民及び民間団体等との協働について

問 区民との協働は、自分たちの地域は自分たちで治めるとの住民自治の姿である。都市の構成員の皆が地域のことを考え、果たすべき公共的な役割を担い、いながら、協働社会を目指すして行くべきではないか。区の認識を問う。

答 協働型社会は、地方分権の時代にあわせて自治の姿として目指す方向である。コミュニティがしっかりと、荒川区の特性を活かし、様々な分野で区民や民間団体等との協働が根付くような仕組みづくりが肝要である。

問 福岡市ではDNA運動が開始された。DNAはできることから始めようである。Nは納得のできる仕事をし、Aは遊び心を忘れず、人間性を持つこと、仕事に取り組みしていくことである。協働型社会に向けて

て、職員意識改革について問う。

答 これからの地域社会では、区民の多様な知識や経験を区政の各分野で活かしていくことが重要であり、全職員が仕事への取り組みを通して区民から信頼を寄せられるようになることが必要と認識している。

問 協働型社会実現のため、協働のための指針策定や協働の必要である。ボランティア、NPO等との連携、協働を推進し、区民からの相談に対応できるようにすべきであると考えられているか。

答 区民や民間団体等との協働を着実に進めるには、区政への参画意識を高める、区民の熱意を受け止めるような受皿が必要である。様々な分野で協働を進めていくよう、指針や仕組みについて検討

していきたい。教育行政について

問 英語授業は外国人の英会話に触れることが、生徒にとって大きな力になる。全校において毎授業時間、ALTの派遣をすべきであると考えられるか。

答 外国人指導員による生の英語に触れる機会を学級担任の授業に効果的に取り入れて行けるよう努めたい。

また、中学生の海外派遣制度は、国際理解や実践的な語学力の習得が期待できる。この点について問う。

問 中学生が地域貢献できる体験学習による防災教育の中学生全員に救急救命法の講習を行ってはどうか。

答 ①防災上、中学生に相應の役割が期待できるの、体験的な活動を取り入れることを検討する。②応急手当法や人工呼吸法は授業で行っている。人命を守るための講習実施にも取り組みたい。

問 予算制度改革について

○ ADHD(注意欠陥、多動性障害)など、新たな対応を求められる障害児について

ALT

英語授業における英語を母国語とする外国人指導員

環境先進区あらかわに向け

区民の公共施設に屋上・壁面・駐車場緑化を導入するとともに、民間の取り組みに対し財政的支援、ノウハウ指導を行うべきか。

問 廃食用油の再利用燃料への活用には、回収ルート確立や廃食用油の品質確保等の困難な課題がある。区では試験的に家庭系の廃食用油を再生業者者に引き渡す取り組みをしており、この事業を継続発展させ、リサイクルに努めているか。

問 現在、放置自転車は巨額の費用をかけて撤去しているが、駐輪場整備が優先されるべきである。民間会社によるコインパーキングなどの無管理システムを導入し、駐輪場の誘導案内に重点的に人を配置すれば放置自転車対策に有効と考えるかどうか。

答 自転車駐輪場の無人化は有効策であるが、防犯上の観点から踏まえながら検討すべき課題である。放置自転車対策は、効果的

環境施策と業務の効率化・透明化への取り組みについて



小坂 英二 (尚志会)

問 使用済み食用油を資源として回収・再生し、ディーゼル車の燃料として活用するシステムを導入してはどうか。

答 廃食用油のディーゼル燃料への活用には、回収ルート確立や廃食用油の品質確保等の困難な課題がある。区では試験的に家庭系の廃食用油を再生業者者に引き渡す取り組みをしており、この事業を継続発展させ、リサイクルに努めている。

問 現在、放置自転車は巨額の費用をかけて撤去しているが、駐輪場整備が優先されるべきである。民間会社によるコインパーキングなどの無管理システムを導入し、駐輪場の誘導案内に重点的に人を配置すれば放置自転車対策に有効と考えるかどうか。

答 自転車駐輪場の無人化は有効策であるが、防犯上の観点から踏まえながら検討すべき課題である。放置自転車対策は、効果的

な誘導員の配置、フリーサイクル事業等、様々な工夫のなかで解決すべき課題であり、積極的に取り組んでいく。

問 契約手続きの透明性向上のため①一般競争入札と公募型指名競争入札の対比を拡大②予定価格の事前公表③随意契約締結基準や入札結果のホームページ掲載を行ってほしいと思うかどうか。

答 ①区内企業への優先発注の方針との整合に配慮し慎重に検討する。②真剣な見聞努力がなされなくなった、談合が行われやすくなったとの弊害が指摘されており、調査・研究が必要である。③他団体の状況も調査しながら検討中で、実施方法が決まったものから順次公表する。

問 住みよい街あらかわに向けて

○子育て支援で親の不安を減少

○子育て支援で親の不安を減少

○子育て支援で親の不安を減少

○子育て支援で親の不安を減少



介護保険と教育行政について



小島 和男
(共産党)

介護保険サービスの区の責務を問う

在宅も施設も十分で民間まで低所得者などに十分なサービスを提供できない。区の責務を果たすための問題点を認識を問う。

特別養護老人ホーム等の無償貸与による経費の削減が保守点検の形骸化や運営の「マクジョブ」化等の問題を生む恐れはないか。

施設の保守は区と法人の役割分担に基き、適正に行う。貸付けの結果、効

率的で質の高いサービスが提供されると認識している。

介護ヘルパーの勤務条件等の実態調査を行い、技術強化の研修に助成制度をつくることを求める。

ヘルパーの勤務条件は、雇用契約上の問題であり、調査の必要性は薄

い。個々の職員に関する研修は事業者の責任において行われるべきと認識している。

第1日里里小学校に学童クラブを設置することに對するの支援を求める。

入所希望者の状況等を踏まえ、検討していく。

その他の質問項目

○政府税調や政府与党の増税計画について

○消費行政の充実について

○マクジョブ

○サービスの経済性もたらす賃金の低下や仕事の単純作業化

雇用政策、公契約条例と地域の安全・安心



斉藤 裕子
(元気クニフ)

「雇用安心社会」を提案する

深刻。荒川区の産業振興策と結び付けて地域の雇用に策支援制度を活用できないか。

「雇用対策支援制度」は、現時点で国からの情報

提供がなく、区が活用できるか不明であり、今後、国の動向を見守っていく。

職業安定法改正で来年3月から地方自治体でも条件付で無料職業紹介事業ができる。地域の特性を生かして身近な自治体で実施を

「公契約条例」で雇用継続や賃金に対する配慮を。

防炎行政無線や地域防災無線を使用し、正確で

防炎無線を使用し、正確で

防炎無線を使用し、正確で

協力に心から感謝している。

地域住民と共に第1日里里小学校存立に向けて教育委員会が努力を尽くすことを求める。

学校や地域の方々の努力により、来年度の学級編成が可能となった。教育委員会として今後も支援していく。

第1日里里小学校に学童クラブを設置することに對するの支援を求める。

入所希望者の状況等を踏まえ、検討していく。

その他の質問項目

○政府税調や政府与党の増税計画について

○消費行政の充実について

○マクジョブ

○サービスの経済性もたらす賃金の低下や仕事の単純作業化

自由な企業活動に影響が生じるなど多くの問題があり制定の考えはない。

安全・安心への取り組み

ふえる商店の避難被害やひったくりや民衆の生活(営業)が妨げられること。空き交番やパトロール不足を指摘する声もある。区の役割をどう考えるか。

新設の危機管理組織が中心となり、警察、町会、地域団体等と連携し防犯体制を確立したい。

関東大震災80周年。流言飛語やパニックを防止するため地域で研修、啓発

現在、区内に新たに野球場を整備するための用地を確保することは困難と考えるが、既存の野球場のなかで設備の整った野球場に改修できるところがない

迅速な情報伝達体制を整備している。さらに総合防災訓練等においても災害対策の啓発を図っている。

現在、照明が設置されているのは、南千住野球場のみとなっている。区内の数少ない施設をより有効に利用するために、まずは多くの人が集まりやすい、あらかわ遊園の多目的運動場にも照明を設置すべきと考えるが見解を問う。

夜間における利用時間の拡大を図り施設の有効活用を目指す上から、また、あらかわ遊園の活性化を図る観点からも大変意義あるものと考えられる。今後は、地下駐車場が支障にならないかなど、技術的な面からの検討を早急に行うと共に、周辺の方々の意見を聞きながら、ナイター照明の設置に向けて積極的に取り組んでいく考えである。

荒川区から交通の便

詳細については現在作成中の会議録が出来しだい、区立図書館および役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ(<http://www.arakawa.metro.tokyo.lg.jp/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することが出来ます。あわせてご利用ください。

スポーツ施設の充実と児童の健全育成施策について



長崎 慶一
(自民党)

スポーツを通じた入居づくりに対するの支援を求める。

入所希望者の状況等を踏まえ、検討していく。

その他の質問項目

○政府税調や政府与党の増税計画について

○消費行政の充実について

○マクジョブ

○サービスの経済性もたらす賃金の低下や仕事の単純作業化

自由な企業活動に影響が生じるなど多くの問題があり制定の考えはない。

安全・安心への取り組み

ふえる商店の避難被害やひったくりや民衆の生活(営業)が妨げられること。空き交番やパトロール不足を指摘する声もある。区の役割をどう考えるか。

新設の危機管理組織が中心となり、警察、町会、地域団体等と連携し防犯体制を確立したい。

関東大震災80周年。流言飛語やパニックを防止するため地域で研修、啓発

現在、区内に新たに野球場を整備するための用地を確保することは困難と考えるが、既存の野球場のなかで設備の整った野球場に改修できるところがない

迅速な情報伝達体制を整備している。さらに総合防災訓練等においても災害対策の啓発を図っている。

現在、照明が設置されているのは、南千住野球場のみとなっている。区内の数少ない施設をより有効に利用するために、まずは多くの人が集まりやすい、あらかわ遊園の多目的運動場にも照明を設置すべきと考えるが見解を問う。

夜間における利用時間の拡大を図り施設の有効活用を目指す上から、また、あらかわ遊園の活性化を図る観点からも大変意義あるものと考えられる。今後は、地下駐車場が支障にならないかなど、技術的な面からの検討を早急に行うと共に、周辺の方々の意見を聞きながら、ナイター照明の設置に向けて積極的に取り組んでいく考えである。

荒川区から交通の便

詳細については現在作成中の会議録が出来しだい、区立図書館および役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ(<http://www.arakawa.metro.tokyo.lg.jp/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することが出来ます。あわせてご利用ください。

の良い松戸市や柏市などにもグラウンドを設置すべきだと考えるが区の認識を問う。

江戸川や利根川の河川敷、あるいは、区外にある企業や学校法人等が所有するグラウンド、遊休地を、より広い範囲に視野を向けながら、利用される区民の利便やニーズなども十分に勘案しつつ野球場の確保の可能性を探ってみたい。

児童の健全育成におけるヨサコインランの活用について

児童・青少年の健全育成を図る観点から、「ヨサコインラン」を荒川区の地域に根付かせるためとして支援すべきであると考えられる見解はどうか。

「ヨサコインラン」が、青少年健全育成、地域の活性化に寄与し、荒川区をアピールする方策の一つであると考える。実現にむけ青少年関係団体とも協議を重ね検討していく。

その他の質問項目

○犯罪防止のための自警団づくりについて

○ジェンダーフリーの風潮と真の男女平等のあり方について

○国際的な自転車レースの開催について

意見書提出

本定例会では、1件可決し、各関係機関に提出しました。

新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書(案)

厳しい状況が続く雇用情勢を打開するために、新たな雇用・起業創出のための施策を優先的に、継続的に断行する必要があります。

よって、荒川区議会は政府に対し、以下の施策を早急に講じるとともに、制度の拡充を強く要請します。

記

- 効果的な規制改革を行い、サービス産業の活性化を図るとともに、環境バイオテクノロジー、情報通信、ナノテクノロジー等21世紀型産業への重点投資を行い、新たな雇用500万人を創出すること。
 - 資源循環型社会を推進し、エコ産業の市場規模を拡大し雇用の創出を図ること。
 - 外国人観光客の増加など観光産業を振興し、雇用の創出を図ること。
 - 政府系金融機関及び民間金融機関等による新たな創業・起業への資金調達の支援策(無担保無保証を含む)の層の拡大を図ること。
 - 定年年齢の引き上げや継続雇用制度等の普及及び65歳までの雇用の確保を図ること。
 - 若年者の失業率を半減させる施策を関係省庁が協力して推進すること。
 - 「土地担保主義」を転換し、技術力や新しいアイデア等を中心とした新融資制度の確立を図ること。
 - 上記の事業を実施するための投資に対する税制支援策の拡充を行うこと。
- (内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・経済産業大臣あて)



新春を

迎えて

**各会派
新年の抱負**

東都名所「日暮里」
歌川広重(初代)
荒川ふるさと文化館所蔵

自民党

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

私達は、真に必要な行政区とは何かを常に考え、荒川区を区民が本当に暮らしやすい全国一の街にするという情熱と、固い信念の下、改革に向け日々汗をかき、時には泥を被る覚悟で行政課題の解決に向け、積極的に政策提言をし、様々な施策を実現してまいりました。

【健康づくり】

人間が生きていく上で何より大切な健康について、「自らの健康は、自ら守る」との合言葉の下、生涯健康都市づくりを推進します。

【区内産業の活性化】

観光振興を通じた区内の消費拡大と付加価値の高い製品づくり等により、区内産業の活性化を図ります。

【ITの活用】

地域ポータルサイトやテレビ電話相談等によるIT先進都市づくり等により、区民サービスの向上を図っていきます。今後も区民の皆様と膝詰りで議論を重ね、真に必要なサービス提供に向け全力で取り組んでまいりますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【危機管理対策】

区内でもひつたりが倍増するなど、治安が急速に悪化しております。そのため、区に危機管理対策室を新設し、補正予算を組みました。今後は警察等の関係機関と区民の皆様と共に防犯対策等を推進します。

【教育改革】

学習の成果を検証する学力調査や、小中一貫の英語教育特区の認定等により、明日を担う子ども達のより良い学習環境を整備します。

世界への玄関口に向け



公明党

新年を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年同様のご支援を賜り区議会、衆院選に大勝利をさせていただきました。今、二大政党制が問われる中、庶民の党「公明党」の使命と役割の大きさを痛感いたします。

【21世紀は女性の世紀】

と云われています。女性が輝ける社会こそ、公明党が掲げる「安心・はつらつ・社会」であります。そのためには公明党が、年金改革の先頭に立ち、その実現を目指すと共に、次の重点政策を推進してまいります。

①子育て支援・児童手当を小学校3年生までに拡大

②全小中学校に二学期制の導入及び英語教育の充実

③区内病院への女性専用外来の設置

④区内5箇所の特別養護老人ホームの開設

⑤特別職の退職金制度、職員の名義貸し制限及び通勤手当の見直し

⑥刑法犯罪の抑止とスパー防犯灯等の設置

⑦コミュニティバスの導入

⑧公共施設・駅等のバリアフリー化の拡充

⑨起業家支援の拡大・新たな雇用の確保

⑩行政と区民の協働化推進

本年も公明党荒川区議員6名は、現場第一主義に徹し、区民の負託に応えてまいります。今後とも皆様の尚一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

共産党

新年明けましておめでとうござります。日本共産党は草の根のネットワークを広げ、平和を守り住民の暮らしと営業を応援するあたりの政治をつくるために今年もがんばります。

財界が誘導する二大政党制づくりのものと、憲法改悪と自衛隊の海外派兵、軍事費拡大と消費税増税の新たな戦前へ危険な道を許さないために力を尽くします。

荒川区民一人あたりの納税額は低くとも法人税や固定資産税を23区全体で配分してお金、一人あたりの使えており、1人あたりの使っているお金は23区で5番目です。基金も160億円あります。これらの力を区民生活にふりむけて●介護保険料・利用料の減免拡大●高齢者半額入浴カードの発行●シルバー人材センターの予算復活●障害者支援費制度の改善●バリアフリーのまちづくり●区民健康診断希望者全員を対象に●医療費助成を小学生まで●区立幼稚園3歳児保育全面実

尚志会

明けましておめでとうござります。

昨年の4月に区議会議員選挙が行われました。定数2名を減らして32名で行われ、区民の負託を得た新しい議員構成で今後4年間区政を担っていくことになりました。

【私達は6名(志村博司、鳥飼秀夫、守屋誠、服部敏夫、小坂眞三、小坂英二)で「尚志会」を継続していくことになりました。

従前が変わらぬ指導をお願い申し上げます。

【云々の由来】

古代中国の「仁政徳治」を提唱した儒教学者、孟子の言葉です。すなわち「士たる者は志を高尚に保つべきである」との意味から命名しました。

自由民主党

区議会の各委員会においては、区民生活に関わる件について時期や調査項目を選び、区内外を問わず調査し区政に役立てています。それとは別に会派において独自に視察調査を行います。今年度は①荒川区が「電子自治体」として進んで行くのを踏まえ、区民生活と行政の役割について調査しました。②つくば市において、「産業総合研究所」とIT社会の関わりについて、高齢者や障害者、産業界においてロボットがどのように関わっていくのか。等多岐にわたる調査を行いました。

皆様の「ご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

新星クニフ

賀正 しがらみのない生活者の視点で活動する片山ひろしの世代は情報公開で公平な区政をめざします。地元経済を回す生活密着の仕事づくりが必要です。

元氣クニフ

新しい年も「生まれる町、暮らせる政治」のために元気に闘っていきます。

●小学校低学年からの3人学級●トイレなど学校施設改善●非常勤栄養士の正規採用●商店街街路灯電気代補助の増額●区内業者リフォーム助成●マンション管理組合の支援●ゴミ減量とリサイクルの強化などの実現を求めます。新しい政治の流れを一緒につくりましょう。

<p>自由民主党 荒川区議会議員団 幹事長 鈴木 堅之 副幹事長 斉藤 泰紀 副幹事長 竹内 捷美 副幹事長 長崎 弘一 副幹事長 茂木 肇 副幹事長 若林 清子 副幹事長 菅谷 安男 副幹事長 嶋山 知尚 副幹事長 並木 一元 副幹事長 浅川 喜文 副幹事長 荻原 豊 副幹事長 須永 京子</p>	<p>公明党 荒川区議会議員団 幹事長 戸田 光昭 副幹事長 中村 尚郎 副幹事長 吉田 詠子 副幹事長 保坂 正仁 副幹事長 萩野 勝 副幹事長 武藤 文平</p>	<p>尚志会 荒川区議会議員団 幹事長 小坂 眞三 副幹事長 志村 博司 副幹事長 小坂 英二 副幹事長 服部 敏夫 副幹事長 守屋 誠 副幹事長 島飼 秀夫</p>	<p>日本共産党 荒川区議会議員団 幹事長 斉藤 邦子 副幹事長 安部キヨ子 副幹事長 横山 幸次 副幹事長 相馬 堅一 副幹事長 小島 和男</p>	<p>新星クニフ 荒川区議会議員団 幹事長 瀬野 喜代 副幹事長 片山 浩</p>	<p>元氣クニフ 荒川区議会議員団 幹事長 斉藤 裕子</p>
---	--	--	--	--	--